

# 最近の雇用情勢について

(令和2年2月)

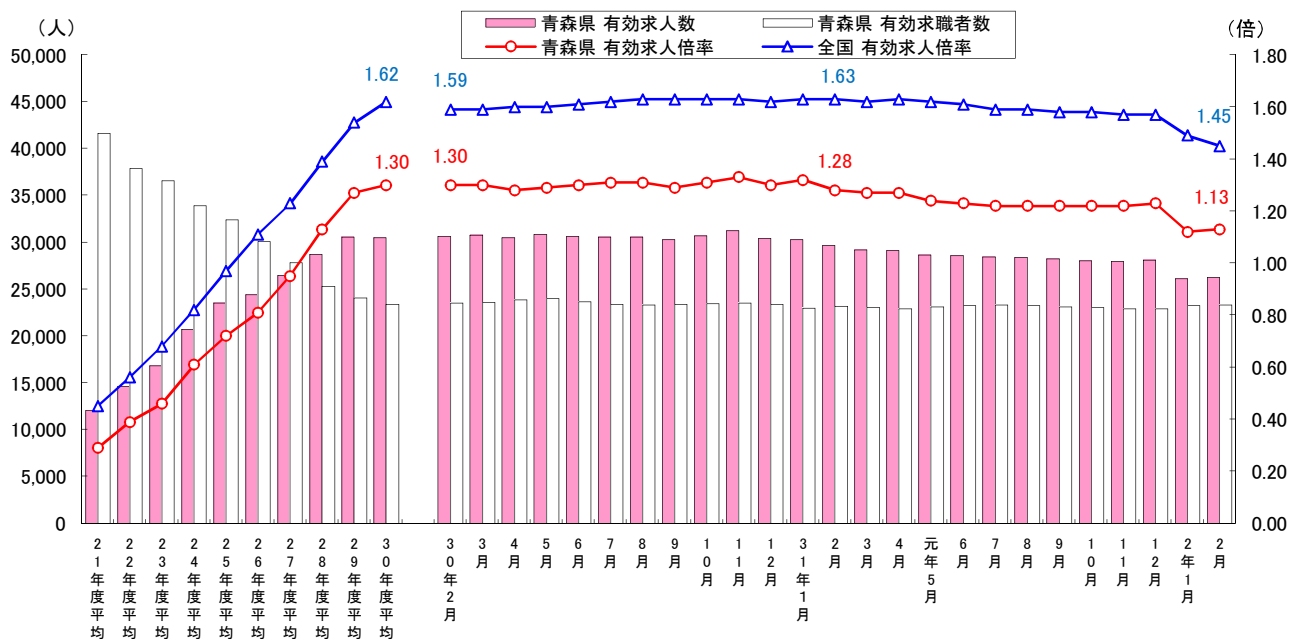
青森労働局

## I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

2月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ0.6%増加し26,248人、有効求職者数（同）は0.3%増加の23,321人で、有効求人倍率（同）は1.13倍となり、前月を0.01ポイント上回った。

就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は1.23倍と前月と同水準となり、受理地別の倍率を0.10ポイント上回った。

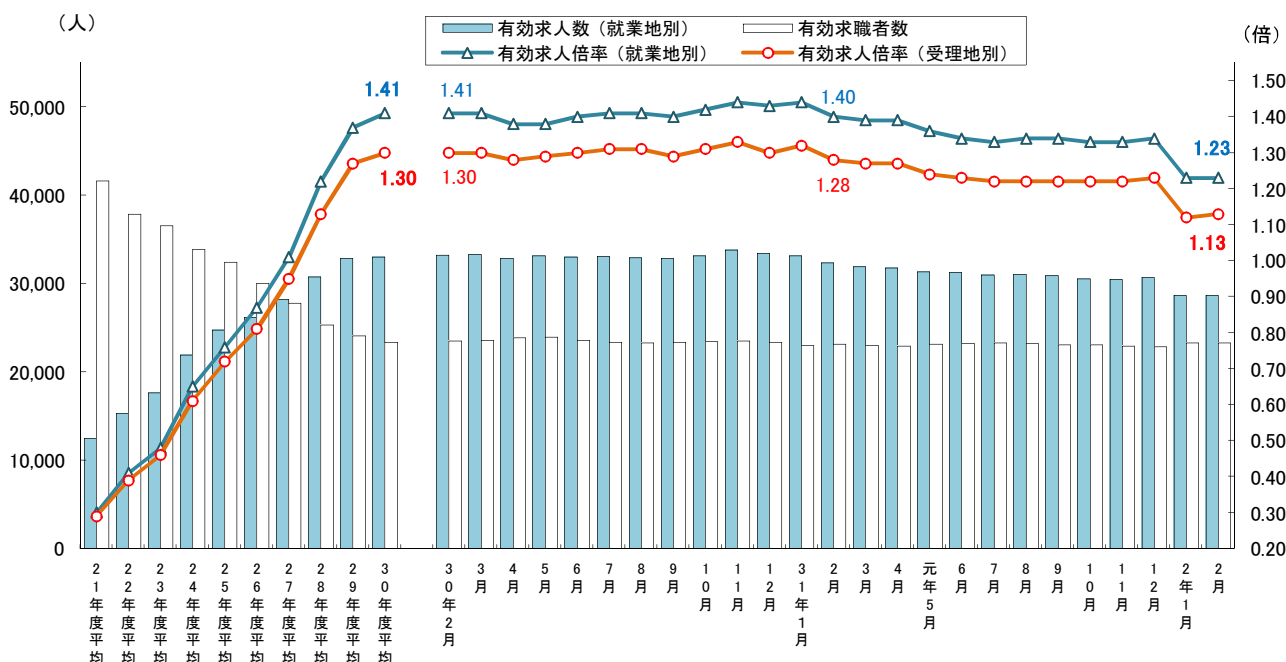
受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

## 【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。

季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。

就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

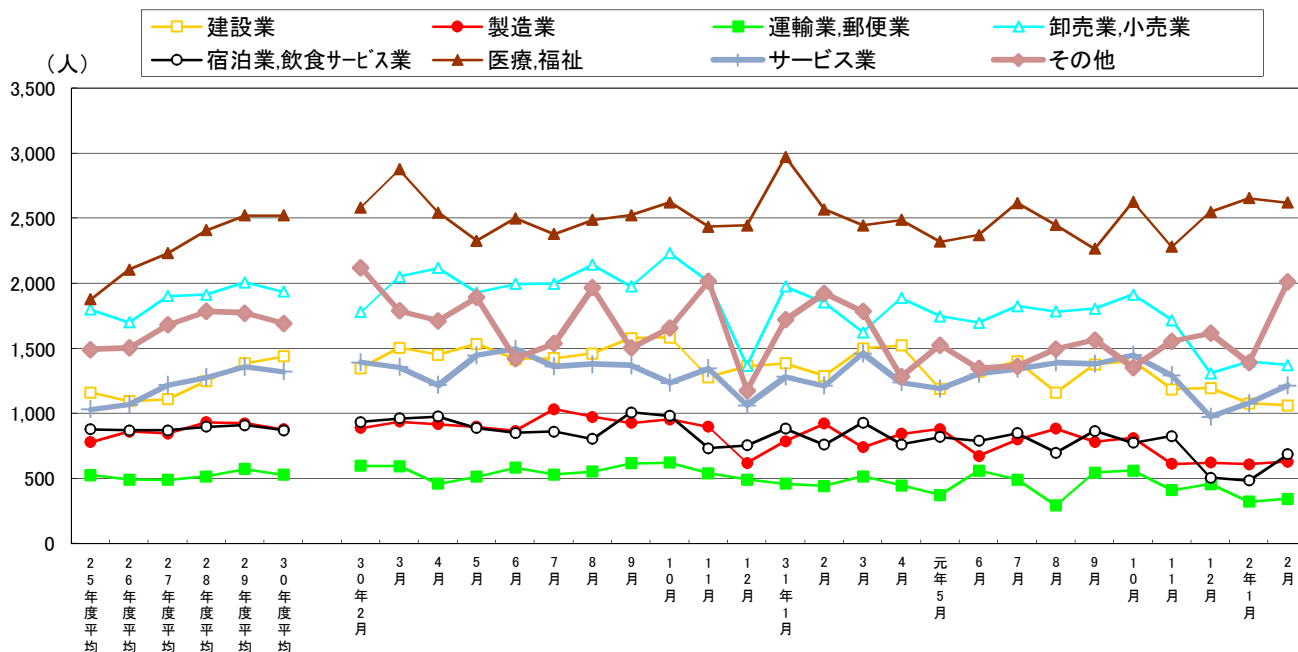
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和元年12月以前の数値は、令和2年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

2月の新規求人数(原数値)は前年同月比9.4%(1,031人)減少の9,951人。

主な産業別で前年同月と比較すると医療、福祉、サービス業等で増加し、建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、郵便業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業等で減少した。

製造業では、木材・木製品製造業(家具を除く)家具・装備品製造業、印刷・同関連業、窯業・土石製造業等で増加し、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、パルプ・紙・紙加工品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用・生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で減少した。



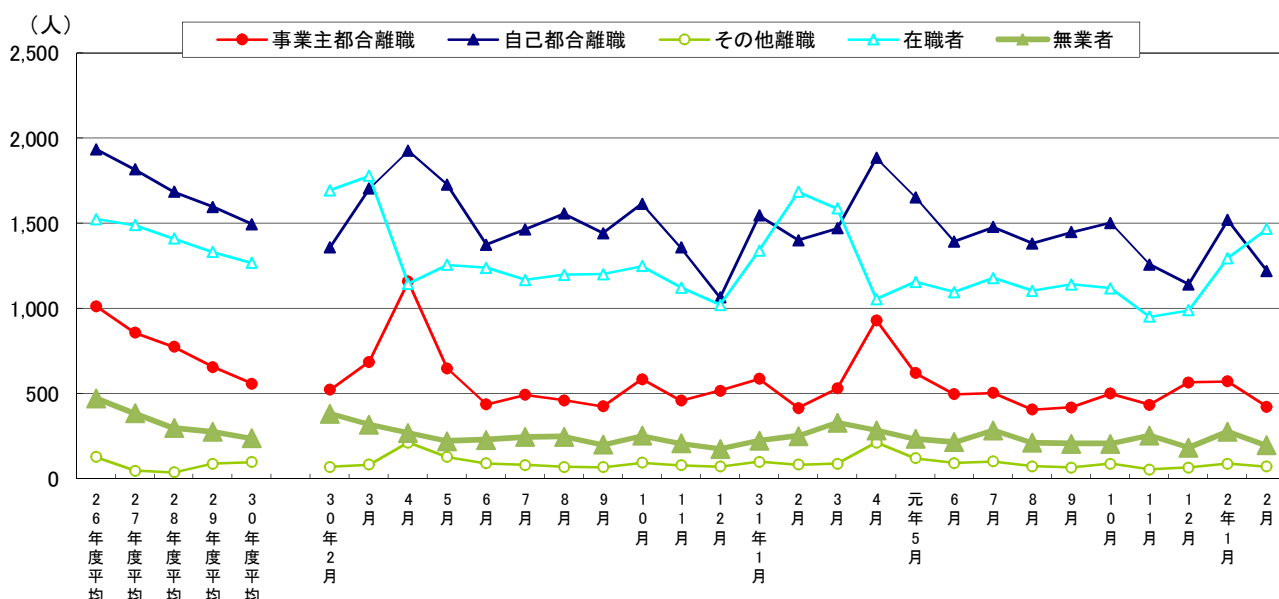
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業・保険業」「不動産・物品賃貸業」「学術研究・専門・技術サービス業」「生活関連サービス業・娯楽業」「教育・学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

2月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比11.9%(456人)減少の3,382人。

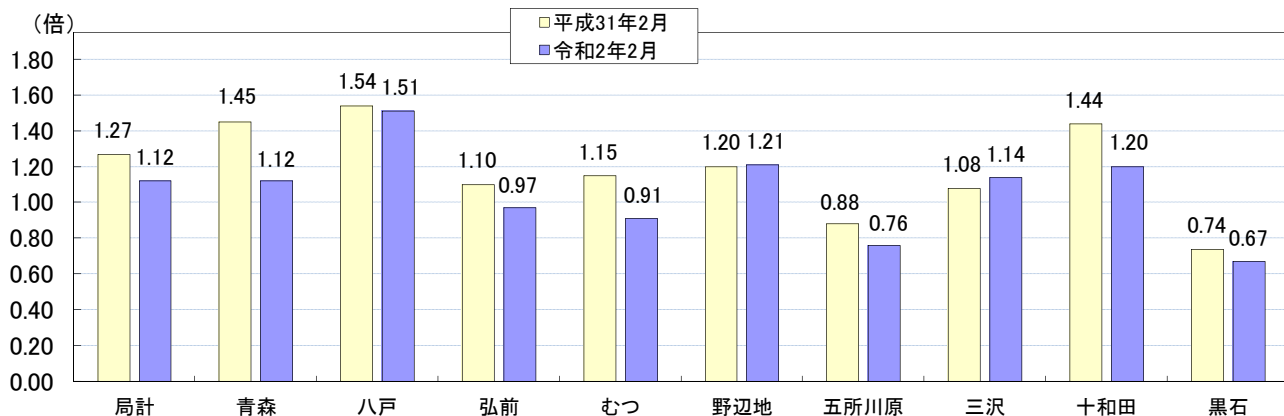
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は13.0%(219人)減少、無業者は21.6%(54人)減少、離職者は9.6%(183人)減少となった。

離職理由別では、事業主都合は前年同月比1.7%(7人)増加、自己都合は同12.8%(180人)の減少となった。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

2月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.12倍となり、前年同月より0.15ポイント低下した。  
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R2.2	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	23,204	5,952	5,026	4,158	1,188	958	2,073	1,384	1,123	1,342
有効求人数	25,936	6,643	7,604	4,046	1,087	1,162	1,571	1,579	1,351	893

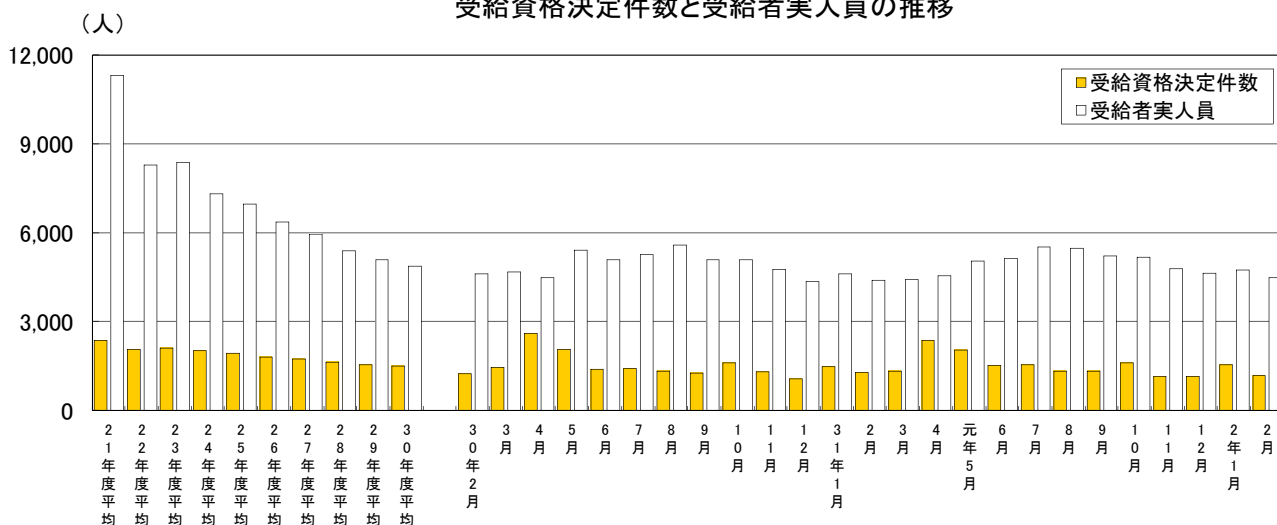
(単位:人)

#### V 雇用保険の状況

2月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比1.7%(74人)増加、前月比では5.5%(262人)減少の4,480人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比8.9%(114件)減少、前月よりも24.0%(368件)減少し1,164件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高齢者、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比19.2%(55人)減少、前月比39.6%(152人)減少し232人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

